

納豆と薬について

病院の外来診察で、よく患者さんから「血液サラサラの薬を飲んでいますが、納豆は食べても大丈夫でしょうか？」という質問をされることがあります。心臓病で治療中の場合、納豆と相性の悪い薬がありますが、すべての血液サラサラの薬との相性が悪いわけではありません。

そもそも血液サラサラの薬は、大きく分けて2つに分かれます。

種類	抗血小板剤	抗凝固剤
治療効果	主に動脈硬化（狭心症、心筋梗塞・脳梗塞など）の病気の治療薬	心房細動による脳梗塞、深部静脈血栓症、肺塞栓症エコノミークラス症候群の血栓を予防する治療薬
薬剤名	バイアスピリン、プラビックス、エフィエント、プレタールなど	ワルファリン（ワーファリン）、 イグザレルト、エリキュース、リクシアナ、プラザキサなど

上記のうち、**ワルファリン（ワーファリン）**のみが納豆と相性が悪く、ワルファリンを内服中の方が納豆を食べてしまうと、薬の効果が薄れてしまいます。その結果、血栓を形成したり血栓が脳へ流れ着いたりして、脳梗塞を起こすことがあります。

まずは、お薬手帳で血液サラサラの薬の名前を確かめたり、主治医の先生、またはかかりつけの薬局の薬剤師に相談したりしてください。



常陸大宮済生会病院

循環器内科
中山 美緒 先生



今月の耳より情報

今月号のテーマは「市民のあの人を紹介します」

「横山節子さん（東野）」

横山さんは平成23年に投稿した俳句が新聞に載ったことで、本格的に俳句や短歌に取り組むようになりました。

寝る時も枕元に鉛筆と手帳を置くなど、思いついた時に書き留めているそうです。俳句作りを教えて、と言われることもあるそうですが「こればかりは感覚的なもの。教えることができないんです」とのこと。これらの句は、6月に行われた大宮地区高齢者スポーツ大会で、地元東野陸会がゲートボールの部で準優勝した時に詠んだものです。

「一丸で 取ったメダルは 準優勝」
「負けられぬ 取り組むチーム 皆強い」
「優勝したい 意気込みだけは 皆同じ」



「雅華組（よさこい踊りのチーム）」

雅華組は本市を拠点に活動。お祭りやイベントなどに引っ張りだこで、華やかな衣装とその高いパフォーマンスは、誰もが一度は目にしたことがあると思います。また市外の演舞では、常陸大宮市をPRしたり、衣装に市の魚でもある鮎!!をデザインに取り入れたりしています。祭り会場などで見かけた際には、ぜひ熱い声援をお願いします。



11月号の情報を大募集!!

11月号のテーマは、「手土産にはこれが一番!」です。10月20日（木）までに、郵便またはファックス、Eメールでお送りください。

【問い合わせ】 政策審議室 秘書広聴課
☎52 - 1111（内線312）
〒319 - 2292 常陸大宮市中富町3135-6
Eメールアドレス
→ hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp